

少しの時間でも
PCを開いて、
一行ずつでも
レポートの作成を
進めました。



阿部 杏紗さん

1年次入学

宮城県

年代：30代(取材時)

職業：教育関係



— 入学のきっかけは？

高校生のとき、元々福祉か別の道に歩むか悩んでいる時期がありました。結局、当時は別の道に進んだのですが、福祉についてときどき考えることがありました。社会人になって数年後、障がい者について理解のない現場を目の当たりにしたとき、環境へ働きかける人として、広い範囲で活躍できる社会福祉士について学びたいと考え、入学を決めました。

— 入学後に大変だったことは？

とにかくたくさんレポートを書くことが大変でした。課題レポート、スクーリングレポートなど、自分の考えをアウトプットすることが多く、章立てしながらまとめるのに苦労しました。あとは家事、子育て、仕事と並行しながら、学習時間を確保することも大変でした。なかなかまとまった時間を作れず、自分のやる気と向き合うことが多かったです。

— 学習を工夫して乗り越えたことは？

レポートについては、『レポート課題集』の先生のコメントをよく読み、何を問われているのかを熟考しました。それからとにかく書き、提出してみること！自分が思っているより良い評価をいただけることもあり、次へのやりがいに繋がりました。時間の確保が難しいときは、毎日食後や寝る前などに数分でもPCを開いて、一行でも少しずつ進めていました。

— 入学してよかったと感じていることは？

一番は仲間がたくさんできたことです。いろんな年齢、職業、価値観を持った人たちが集まっていて、休み時間やグループワークの時間が毎回楽し

みでした。仲間たちの考えを聞いて学ぶ時間、課題の辛さを共有したりすることでリフレッシュする時間になりました。マメに連絡を取り合う仲の方もでき、いつもお互い励まし合っています。

— スクーリングを受講しての感想は？

会場スクーリングは、講義に集中できること。先生に直接質問できること。オンデマンドの映像の中には入っていない話などもあり、理解を深めるために、なるべく会場スクーリングで授業を受けるようにしていました。オンデマンドは、隙間時間に少しずつ自分のペースで進められること。もう一度聞きなおしたいときに、何度も再生できるところが便利でした。

— 実習を通しての感想は？

授業や事前学習で学んだことが、現場の実際と一致していくことで理解をさらに深めることができ、国家試験に向けて気持ちが引き締まりました。巡回指導や帰校指導では、学んだことや自分の考えを話し、頭の中を整理することもできました。最初はかなり不安でしたが、実習先では多くの学びがあり、行ってよかったと思っています。

— 入学してから今までで印象に残っていることは？

必修、専門科目、実習指導、興味のある特講の授業を受けたりすることで、様々な先生方との出会いもありました。多くの福祉現場に携わっている先生方の経験談を聞く時間が、非常に楽しかったです。自分ならどうするのか、などと話を聞きながら頭の中で想像していました。どの先生方も気持ちが伝わってくる授業で、学びを楽しめた理由の1つだと思います。

— 入学の動機、入学前と卒業後の意識の変化、今後の目標などについてお聞かせください。

生きていくうえで人に寄り添うこと、寄り添われることがどれだけ大切で尊いことなのかを深く考えるようになり、福祉を一から学びたいと思うようになりました。また、人に寄り添い支える知識と力がほしいと感じ、通信教育部に入学することを決めました。

— 在学中の学びで印象に残ったことや、苦労したエピソードをお聞かせください。

大学で学んだことがない私にとって、4年間続けられるのか、卒業できるのか不安でいっぱいでした。感染症の影響もあり、ひたすら自宅で学習を進めていく日々が続き、自分で計画的に学習を進めることが如何に大変なことを思い知らされました。学びたいと自分で望んだはずなのに、教科書を開くことさえ苦痛を感じたことや、レポートが書けず何日も悩んだことが思い出されます。

卒業年度の学習状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
レポート													
スクーリング													
科目修了試験													卒業
実習													
国家試験勉強期間													合格

社会福祉士

引地 かおりさん

1年次入学



宮城県

年代：40代(取材時) 卒業：2024年3月

職業：児童福祉施設勤務

— 苦労をどのようにして乗り越えたかお聞かせください。

教科書やスクーリングで学んだ内容を、自分の生活や身の回りのことに照らし合わせて深く考えてみるように心がけていました。私だったらどうする、どう思うなど、在学中は常に学びと結びつける生活であったと思います。

— 本学での学びが現在のお仕事や生活場面にどのような影響があるか、活かされているか、今後の目標などについてお聞かせください。

4年間で学んだ知識と経験を仕事や生活場面に結び付けて、そこからまた考察し新たな学びを得ていると感じています。目まぐるしく過ぎていく毎日ですが、小さな気づきや疑問に向き合いながら、今私ができることは何かを考えて生きていきたいと思っています。在学中支えていただいた多くの方々に深く感謝するとともに、これからも社会福祉士として自己研鑽に努めていきたいと思っています。



精神保健福祉士

木村智之さん

1年次入学

北海道

年代：40代(取材時) 卒業：2024年3月

職業：精神科クリニック・ソーシャルワーカー

— 入学の動機、入学前と卒業後の意識の変化、今後の目標などについてお聞かせください。

私は入学前まで障害福祉サービスの仕事をしながら、勤め先の法人下にある精神科クリニックの専門職スタッフと連携をしながら障害者の支援にあたっていました。私自身が昔から精神障害者であり障害者手帳も持っている中で、精神科医療のあり方を漠然と考えながら仕事をしていました。職場に東北福祉大学の実習生が来ることがあり、その方の話を聞く中で、自分自身この歳からでも挑戦できるのかもしれない、と半ば無謀とも思いながら入学を決め、ダメで元々、やってみ

たいという気持ちに身を任せ入学に至りました。

— 在学中の学びで印象に残ったことや、苦労したエピソードをお聞かせください。

なんといっても苦労したことはレポート作成と国家試験勉強でした。しかし、今思えば精神保健福祉分野に纏わる貴重な知識を得る機会だったと痛感しています。知識と学びは底知れず奥が深いもので、その基礎の基礎を勉強していたのだと現在は肌で感じています。またスクーリングでの諸先生方の実体験などに基づく生々しいお話、実習先で学び得たことなど、印象に残っていることは数知れず。困った時はすぐに大学通信教育部の事務方にメールし、迅速に丁寧に、涙が出そうな時も助けて頂いたことも、とても有難く印象に残っています。

卒業年度の学習状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
レポート													
スクーリング													
科目修了試験													卒業
実習													
国家試験勉強期間													合格